

インフラ整備70年 講演会(第67回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

道央圏の道路網整備と北海道開発

～世界の北海道を目指して～



＜講演内容＞

導入 北海道開発の意義と道央圏の道路網整備

橋本 幸 元 国土交通省北海道局長

道央圏の道路網整備を振り返る

①積雪寒冷地における道路整備の先駆け・金字塔を打ち立てた国道36号:弾丸道路

谷村 昌史 元 国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所長

②道央の発展とともに伸びゆく道路網

佐藤 謙二 元 北海道開発局建設部長

栗原 則夫 元 日本道路公団札幌建設局 工事長

今後の道路管理:データ活用による北海道の持続可能な道路橋梁維持管理

長井 宏平 北海道大学大学院 教授

道央圏の道路網の強みを活かした地域づくり

高橋 清 北見工業大学 教授

三澤 英恵 国土交通省北海道開発局 札幌開発建設部

大沼 薫 株式会社ドーコン 交通事業本部 交通部



写真提供:国土交通省北海道開発局

2026年 3月4日 (水)

講演会:15:00～17:00

場 所:札幌市民交流プラザ 3階 クリエイティブスタジオ (会場・WEBのハイブリット形式)

定 員: 会場 100名 WEB 1000名

主 催: (一社)建設コンサルタンツ協会 後援: (公社)土木学会

かつての北海道開発の時代より、現在そして未来においても食・観光・脱炭素等の強みを活かした産業が展開する北海道において、重要な社会基盤となっている道路網整備。

弾丸道路と呼ばれる国道36号は、積雪寒冷地に適した技術の先進的な採用など、全国に先駆けて技術の先端を追い求めた。また、現在の道央圏の骨格を担う札幌新道・道央圏連絡道路・石狩街道といった国道網、道央自動車道・札樽自動車道といった高速道路網は、五輪開催を成功に導く計画的実践や泥炭性軟弱地盤との闘い、そして現在はリニューアル工事や橋梁・舗装等のメンテナンス、冬期災害への防災力強化、カーボンニュートラルへの対応等が課せられている。

本講演では、これらの歴史的経緯や背景と、道央圏の道路網整備における「技術の先駆け」・「ブレない精神」の二つの一貫した想いを紹介するとともに、そうやって整備された道路網が北海道開発の推進の目的である“その時々の国の課題の解決”への役割を果たし、またこれからも「世界の北海道」へ向けて発展・挑戦していく、そんな将来へのメッセージを発信する。

インフラ整備70年講演会(第67回)

道央圏の道路網整備と北海道開発～世界の北海道を目指して～

《講演》

導入 北海道開発の意義と道央圏の道路網整備（橋本 幸：20分）

道央圏の道路網整備を振り返る

①積雪寒冷地における道路整備の先駆け・金字塔を打ち立てた国道36号：弾丸道路（谷村 昌史：15分）

②道央の発展とともに伸びゆく道路網（佐藤 謙二、栗原 則夫：各15分）

今後の道路管理：データ活用による北海道の持続可能な道路橋梁維持管理（長井 宏平：15分）

道央圏の道路網の強みを活かした地域づくり（高橋 清、大沼 薫、三澤 英恵：40分）

講演会 申し込み方法（変更がありますのでご注意ください）

- 会場・WEBとも無料、どなたでも申し込みできます。
- お申し込みは協会HP（<https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/>）よりお願いします。

【注意事項】

- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点で締め切りとなります。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 申込時の個人情報はインフラ整備70年講演会に関する事項のみに使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等はご遠慮頂きますようお願いします。

<WEB配信について>

- 申込完了者には、ZOOM入室URL（事前登録用）を講演当日の前日までに送付させて頂きます。
- 受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください（複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います）

問合せ先 E-mail : infra70@jcca.or.jp

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるといって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聞く機会は少なくなっています。

今般、（一社）建設コンサルタント協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、（一社）建設コンサルタント協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとしました。

*建設コンサルタント協会では、これまでの講演概要資料及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の概要資料は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定> 第68回講演会 2026年5月21日(木) 建設コンサルタント協会会議室(会場・WEBのハイブリット形式)

テーマ：首都圏外郭放水路～河川技術者の挑戦、そして「地域の守り神」として未来へ引き継ぐ～

講演者：平井 秀輝（元 建設省 関東地方建設局 江戸川工事事務所 調査課長）

清水 俊夫（元 建設省 関東地方建設局 江戸川工事事務所 建設専門官）

小池 聖彦（国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所 所長）